

K120.8

81

1

尋常國語讀本凡例

尋常國語讀本

一、本書は現行の小學校令および同令施行規則に従ひ尋常國語讀本

校の國語教科用書にてんがために編纂したり。

一、本書は尋常小學校の國語教授は、三組に區分するの適當なるを認め、第一第二卷を第一學年相當(丙組)の程度、第三第四卷を第二學年相當(乙組)の程度、甲乙各篇の第五第六卷を第三第四學年相當(甲組)の程度とし、かつ甲篇と乙篇とを同程度の異材料にて編纂しこれを一年がはりに使用するものとせり。

一、本書は初學年の兒童をとくに一部にあかつて教授すべき必要あるを認め、第一第二卷と第三卷以上との間に、材料相互の連絡を取らすといへども、第三第四卷と甲乙各篇の第五第六卷との間には、出采得るかぎり連絡を取ることとし、もつて、甲乙の兩組を共同的に教授する便をはかれり。

一、本書の材料は、兒童のもつとも興味を感じ、かつ、國民的生活に必須なるものについて、選擇せんことをつとめたり。

一、假名文字は、片假名より平假名に及ぼすの方針を取り、字畫および發音の平易なるものより始め、兒童生活のもつとも趣味ある材料に

小山左文二
加納友市合著

尋常國語讀本

株式會社集英堂

小山左文二
加納友市合著

尋常
單級國語讀本

東京
株式會社集英堂

尋常國語讀本凡例



小学

- 一、本書は現行の小學校令および同令施行規則に従ひ、尋常國語讀本を編纂した。本書は尋常國語讀本の國語教授は、三組に區分するの適當なるを認め、第一第二卷を第一學年相當(丙組)の程度、第三第四卷を第二學年相當(乙組)の程度、甲乙各篇の第五第六卷を第三第四學年相當(甲組)の程度とし、甲篇と乙篇とを同程度の異材料にて編纂し、これを一年がはりに使用するものとせり。
- 一、本書は初學年の兒童をとくに一部にあかつて教授すべき必要あるを認め、第一第二卷と第三卷以上との間には、材料相互の連絡を取らすといへども、第三第四卷と甲乙各篇の第五第六卷との間には、出を得るかぎり連絡を取ることとし、もつて、甲乙の兩組を共同的に教授する便をはかれり。
- 一、本書の材料は、兒童のもつとも興味を感じ、かつ、國民的生活に必須なるものについて、選擇せんことをつとめたり。
- 一、假名文字は片假名より平假名に及ぼすの方針を取り、字畫および發音の平易なるものより始の兒童生活のもつとも趣味ある材料に

つきて、愉快に習熟せしめんことをつとめたり。

一、本書は、漢字節減の旨趣に従ひ、とめて、むづかしき漢字をさけたるのみならず、字義および読み方の誤りやすきもの、實用少なきものなどは、なるたけ、これを用ひざらんことを期せり。

一、本書は、第四卷までを、まつたく口語體の文章とし、甲乙各篇の第五卷より、漸次、平易なる文語體のものを加ふることとせり。

一、口語は、おもに、東京語により、かつ、ひろく全國に行はるるもの参酌折衷したり。

一、思想を審美的に發表するの必要あるをおもひ、初巻より、毎巻、およそ、二三章を讀文體に記述したり。

一、日用文の形式を授くるは、實際の生活上、きはめて、必要あるを認り、甲乙各篇の第五卷より、この種の文例數章をさじはさめり。

一、日用文は、從來用ひ來たれる候文の形式を用ひ、口語體によりて平易なる新例を示したり。

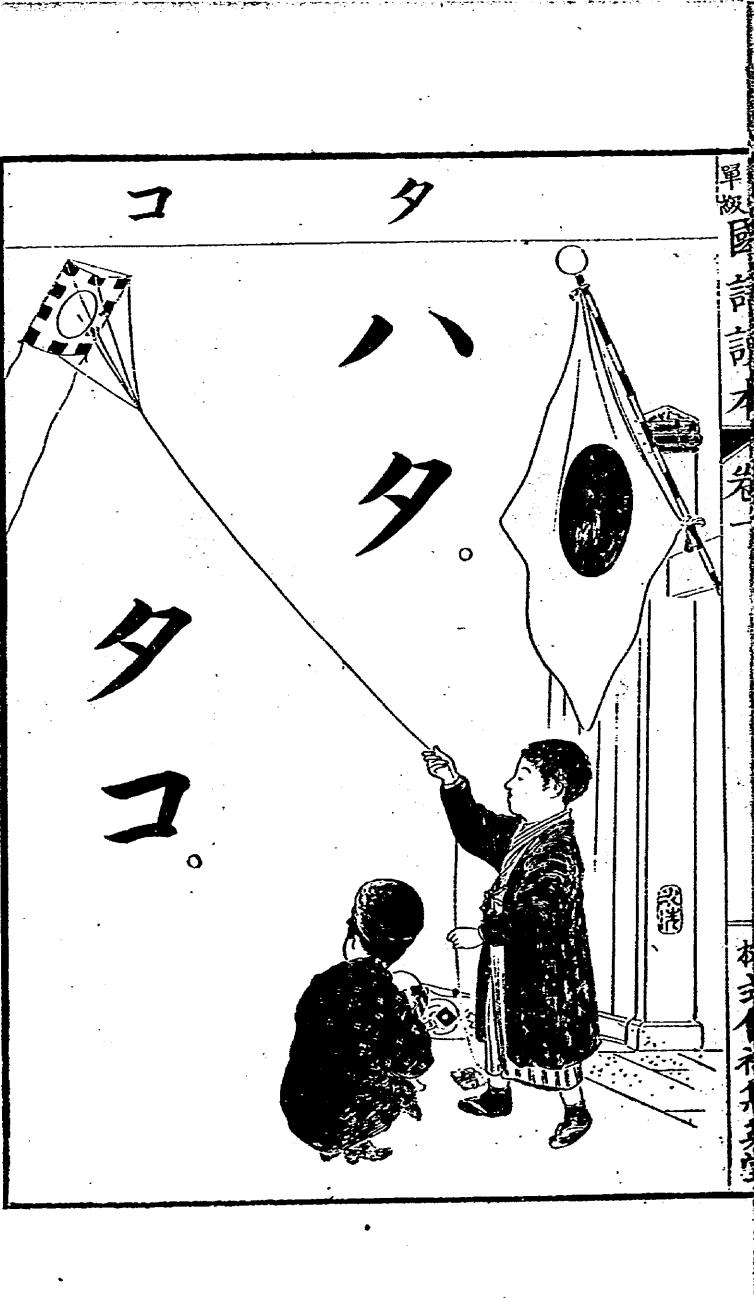
一、本書は、趣味ある練習文を處々に加へて、應用の資料に供せり。

一、甲乙各篇の欄外の摘要は、いまだ、この兩篇のいづれをも學習せざるものと標準とせるがゆゑに、兩篇、おのづから、同一の摘要あり。

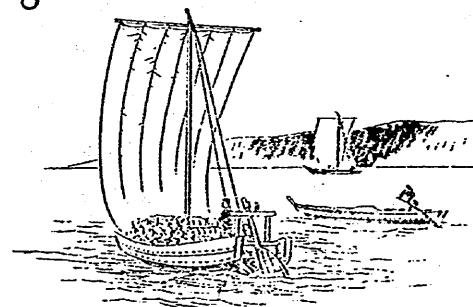
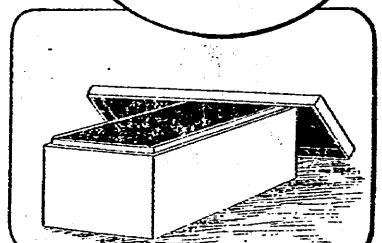
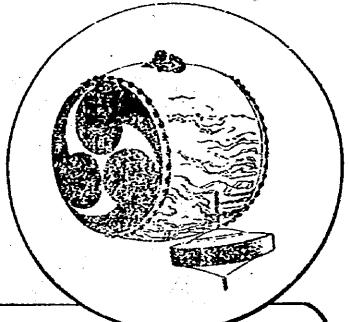








アリ。ハオリ。
アイネ。タケ。イタ。

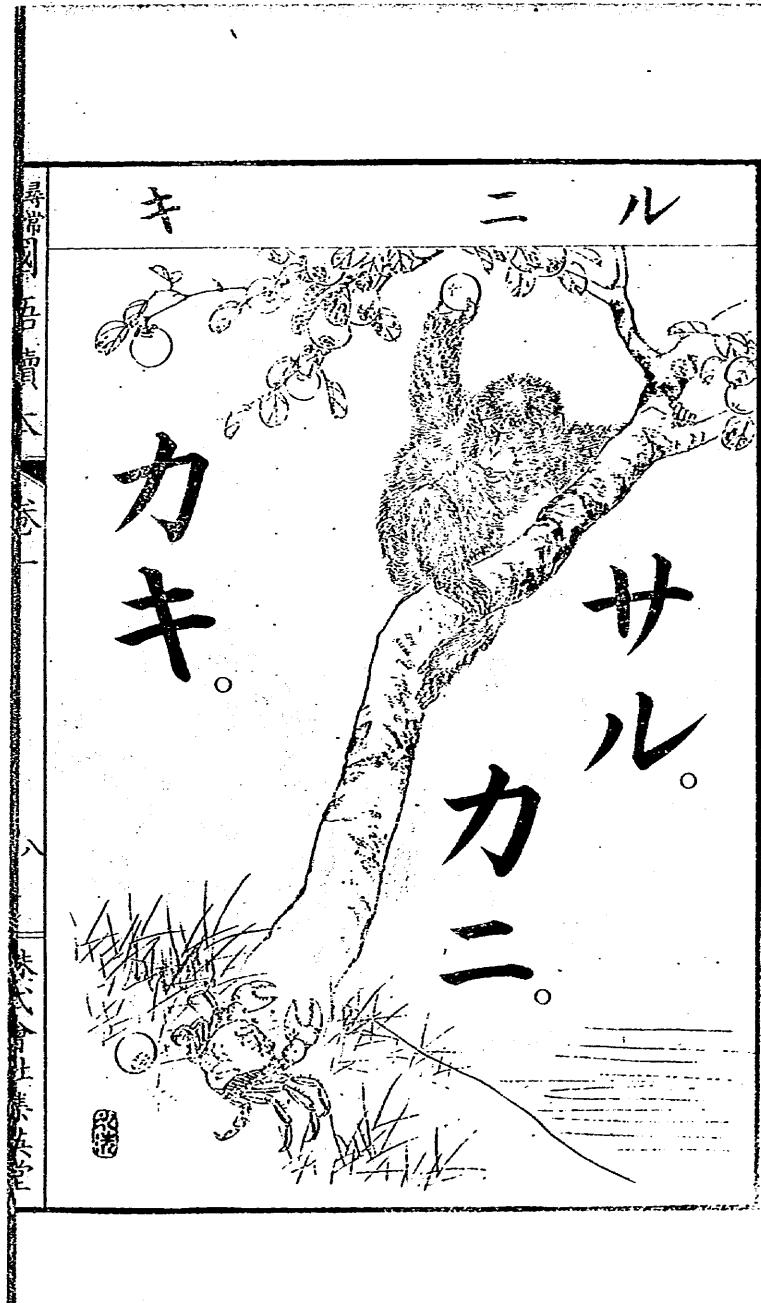


オ
ア
オトト

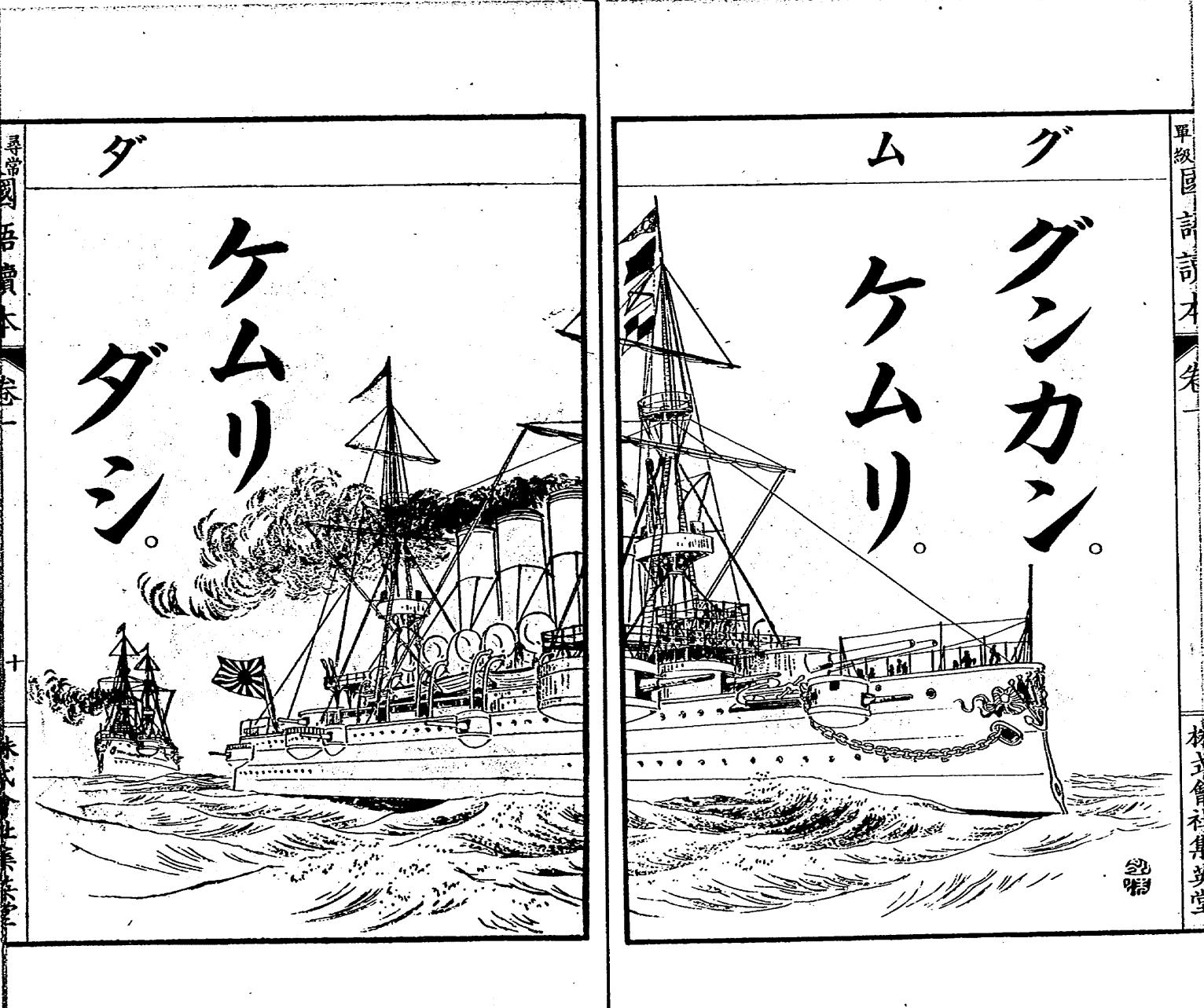


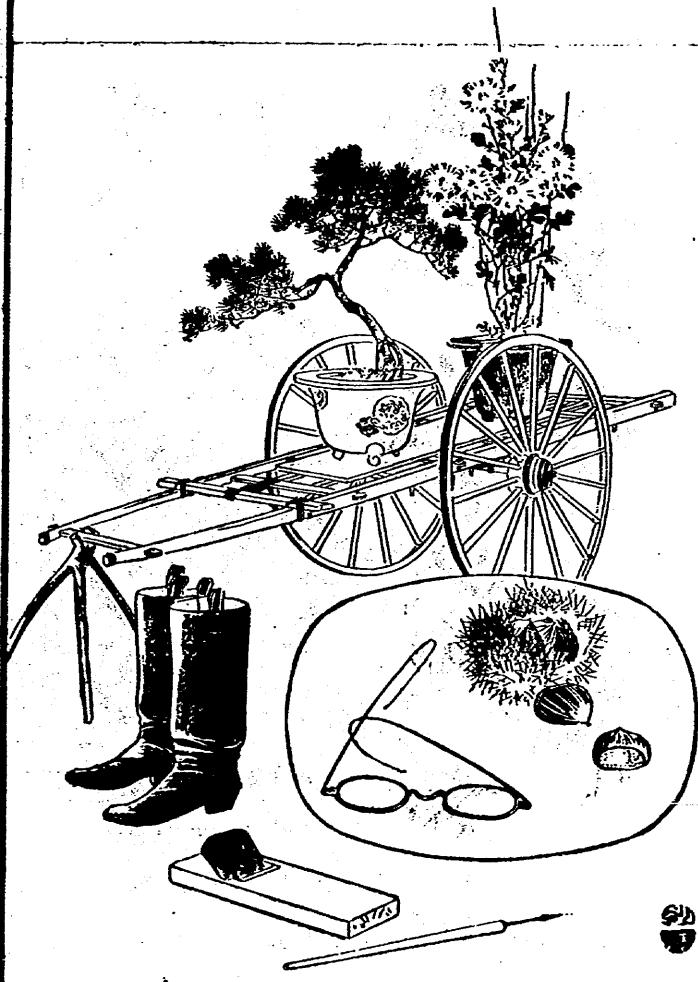










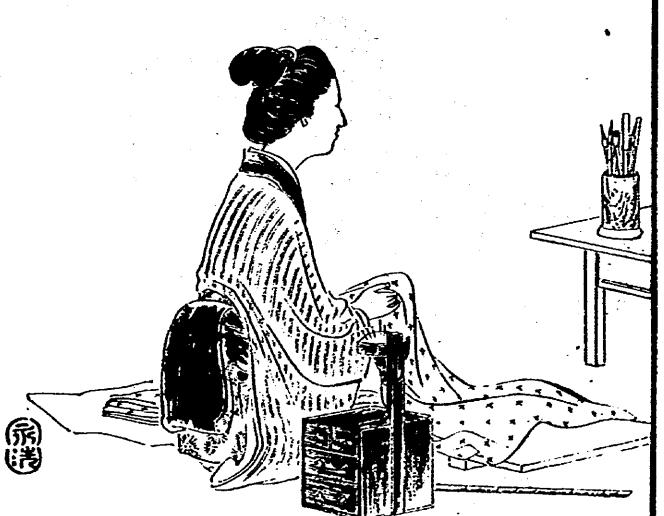


クマ。ウシ。ツル。ガン。
カヘル。ムシ。ウミ。
ミヅ。コガタナ。タル。
ダイコン。ヅキン。

テ
ス
フ
ス
デ
ガ
ミ。

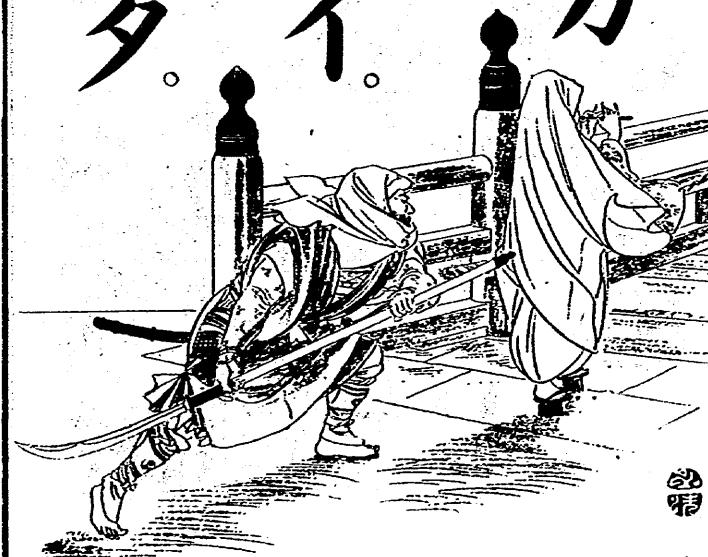


エ
ズ
ス
ズ
リ。

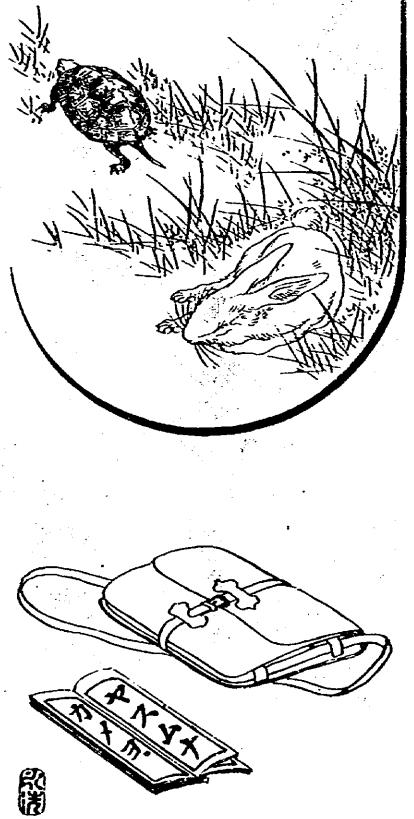




ワウシワカ
ト
ベジケイ。
ナギナタ。



カメヨ やスムナ
ヤスムナ カメヨ。



ツバメトスズメ。
カサトツエ。



チノミ
ノツチ。



モイモト

モリスル。



ドコドモ

ツナノ

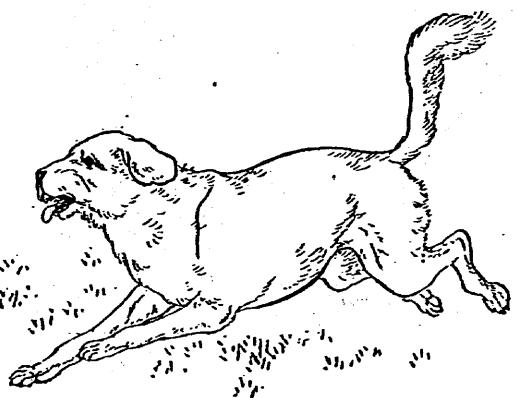
ヒキ
ヒフニ。



口

シロイヌ

ガハシル。



一

タロー

ヨ

ソ

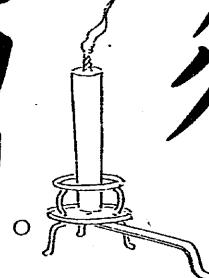
イソグ。



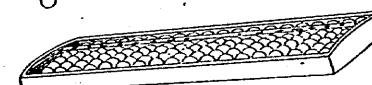
ロソク

ノ

ヒカリ。

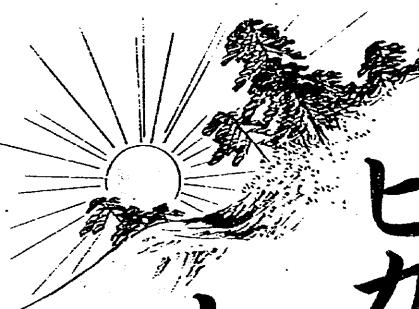
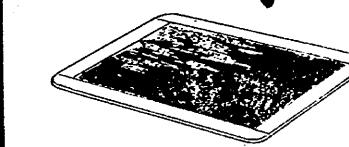
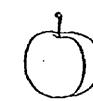


ヒガ
デタ。



ト

ト



ドシタロモイソゲ。
ドチラモマケナ。
ドチカラモヒケヒケ。
マケナヨ、マケナテ。

ザ レ

キレイナ
ザシキ。

エ
エンラ
フク。



ゾ
ヅ
スル。
タキン。

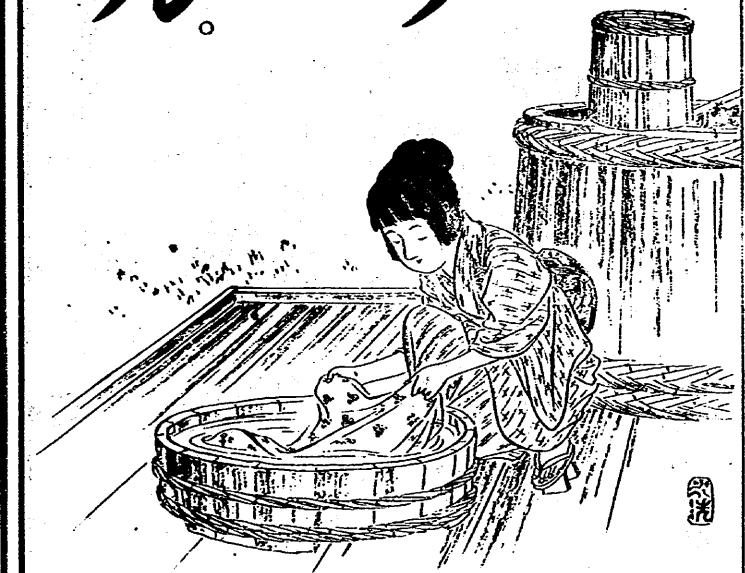


キド。

セントラク

ヲ

スル。



ビュ
ユービン

ガ
キタ。

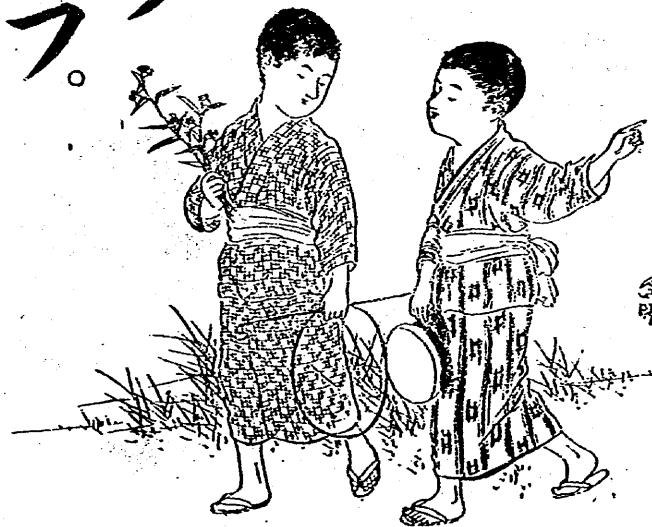
ジ
ジローサン
ノ
テガニ。



ボーリン

ラモツ。

ナカヨク
アソブ。



ラヂサマガ
ミエタ。
ザブトンラ
シク。
セミガナク。
ジージージー。



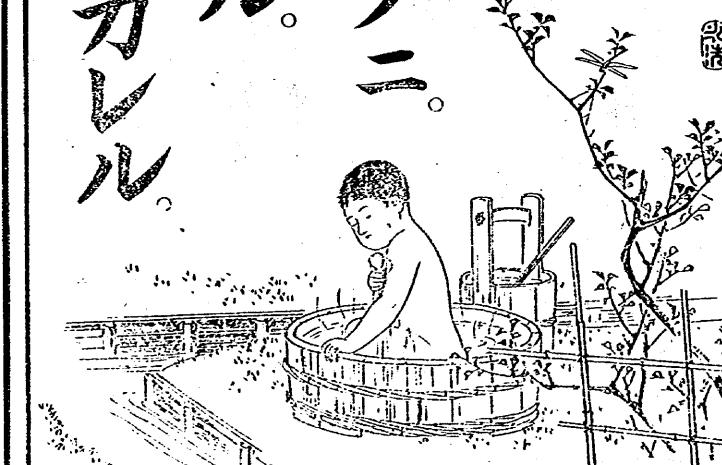
トンボ

トンボ

トマレヨ、ミダニ。

ユヲアビル。

ミヅガナガル。



ゴママゴト

ヲスル。

ゼンヲ
ダス。



ツ マツチ

ヲ

スル。

ランプニ
ヒヲツケル。



ペ
ン
デ
ジ
ヲ
カ
ク。

ビ
エ
ン
。ヒ
ツ

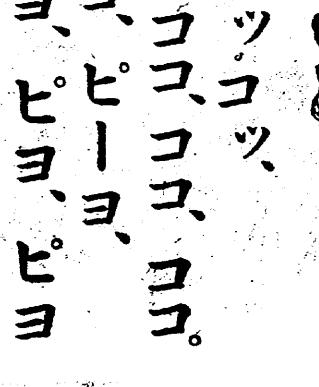
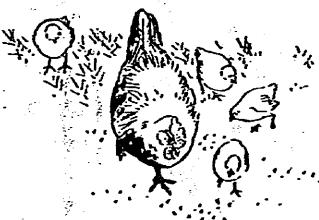
デ
ス
ヂ
ヲ
ヒ
ク。



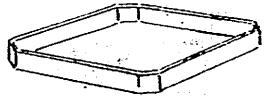


オニゴトヲスル
オニサン、オニサン、
ヨチラヘオイデ。

コッコッコッ、
ココ、ココ、ココ。
ピーヨ、ピーヨ、
ピヨ、ピヨ、ピヨ



ニ ラノセル。



カツバラ
キル
ポンブノ
クダカラ
ミヅガデル。



カタカナ

ナ	タ	サ	カ	ア
ニ	チ	シ	キ	イ
ヌ	ツ	ス	ク	ウ
ネ	テ	セ	ケ	エ
ノ	ト	ソ	コ	オ

シ	ワ	ラ	ヤ	マ	ハ
キ	リ	(イ)	ミ	ヒ	
(ウ)	ル	ユ	ム	フ	
エ	レ	(エ)	メ	ヘ	
ヲ	ロ	ヨ	モ	ホ	

石川ヒ

カヒコガ
クハノハ
ヲクラ。
サンザン、



ザン。

二十七

尋常錄

ハ	バ	ダ	ザ	ガ
ヒ	ビ	ヂ	ジ	ギ
フ	ブ	ヅ	ズ	グ
ヘ	ベ	デ	ゼ	ゲ
ホ	ボ	ド	ゾ	ゴ

ホオ

オホキ

ナマユ。

フタリガガ

カヅヘル。

一ツ二ツ

三ツ四ツ五ツ。

五ツ四ツ三ツ二ツ一ツ

00000



十九ハツ六

コノナシハイクツ
アリマスカ。
一ツ二ツ三ツ四ツ
五ツ六ツ七ツ八ツ九ツ
十、ミナデ
十アリマス。



五四三二一

カハイラシイ
ヒヨコガ
エラ
ヒロツテキル。
一、三、三、四、五、
五ハキル。



十九八七六

オヤタクサンノヒゴヒ
ガ、デテキマス。

二、三、三、四、五、六、七、

八、九、十、

十。ヒキ

キマス。



K120,8

單行本一言占卜

本二三四五

一。二。三。四。五。
六。七。八。九。

ヨヒ、ヨヒ、ヒゴヒ。
イケノナカノヒゴヒ。
ナランデオヨゲ。

ヲハリ

明治三十四年九月二十日印刷

明治三十四年九月廿三日發行

編者 小山左文二

編

者

定

卷一金九十二錢

卷二金十一錢

卷三金十二錢

卷四金十二錢

卷五金十三錢

卷六金十四錢

卷七金十三錢

卷八金十四錢

發行

者

株式

會社

集

英

堂

市

印

刷

者

右社長

小林清一郎

印

刷

所

東京市神田區御原河岸十二號地

印

刷

所

株式

會社

集

英

堂

活

版

所

東京市神田區御原河岸十二號地

右社長
小林清一郎

東京市淺草區老松町拾壹番地

東京市淺草區老松町拾壹番地

